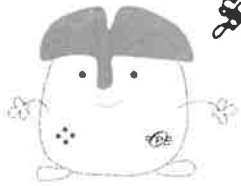


さくら苑だより

Sakura-En Nursing Home Journal



[平成29年11月号]

編集・発行

社会福祉法人 佐倉厚生会
特別養護老人ホームさくら苑

(〒285-0025)佐倉市鏑木町346番地

TEL 043-486-5050

FAX 043-486-1610

[介護相談専用] 043-486-3960

発行責任者 相 沢 毅

第39号

地域支援事業への取り組み

私どもの法人では、地域における介護を支えるための取り組みとして、今年度新たに二つの事業を開始いたしました。ここでは、それぞれの事業についてご紹介いたします。

印西市船穂・牧の原 地域包括支援センターの開設

当法人の活動エリアである印西地域において、平成二十九年四月より印西市の委託を受け市内五圏域の一つである船穂・牧の原地区での地域包括支援センターを開設いたしました。

印西市ではこれまで、地域包括支援センターの業務は合併する以前の体制のままで行われてきましたが、今年度からは市内を五圏域に分けて事業委託することとなり、その一地区を当法人が担うこととなりました。

この、船穂・牧の原圏域は近年急ピッチに開発が進んだ地区であるため、印西市の中でも高齢者人口は他の圏域に比べ多くはありませんが、従来から住まわれている地区では高齢化も進み、同じ圏域内にあつて新興住宅地と旧住宅地では住民意識に大きな違いがあることもわかり、開設当初は戸惑うこともありましたが、今では地域性を十分理解できる



地域を結ぶ足として活躍！

ようになったことから、地域包括支援センターとしての事業活動も、今後ますます積極的に展開していけるものと確信しています。

それでは、地域包括支援センターにはどのような役割が求められているのでしょうか。『地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康

保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う中核的機関として設置されるもの』として、介護保険法に位置付けられている機関です。

この目的が十分に生かされるよう、スタッフ一同地域支援に日々飛び回っており、さらに総合相談窓口には主任介護支援専門員、経験のある看護師、社会福祉士の三名の専門職員が対応していますので、気軽にご相談にいらしてください。

スタッフ一同、いつでもお待ちしております。



印西市
ふれあいの里に
開設



研修会を通して地域の民生委員の方たちが
一同に顔合わせ

地域へ発信～地域支援活動～

平成29年7月12日に今年度第1回目の『オープンサロンやまびこ介護教室』を行いました。この日は、3年前にもお越しいただいたユーカリが丘・デンタルクリニック歯科衛生士の成岡様に『口腔ケアについて』お話ししていただきました。

歯ブラシと鏡を使いブラッシングの実践指導を中心に、義歯の取り扱い方や訪問歯科診療での実体験、ちょっとした小話などもあり、あっという間の一時間でした。講義後のティータイムでも質問が旺盛で、終了予定時間をオーバーしてしまいましたが、予想外のうれしい誤算でした。

『オープンサロンやまびこ介護教室』は年に3回開催しており、第2回日は11月8日(水曜日)午後1時30分から行われました。この日は特別養護老人ホームさくら苑の上荒磯管理栄養士が講師を務め、緊急時の非常食の試食や心得など実践的な内容が中心であったため、参加者からも大変なためになったと好評でした。次回は三月を予定しています。皆様の興味のある題材を企画しておりますので、是非お越しください。職員一同お待ちしております。

また、平成26年10月から始まったさくら苑地域交流・研修所での『介護予防体操』は、この10月で4年目を迎えることができました。月に3回開催していますが、毎回15名ほどの方が、ほとんど徒歩で参加にいられます。80歳代の方の参加もありますが、皆さん健康に対する意識が高く、参加者からの希望により昨年から体力測定を年に2回実施するようにもなりました。

開催日は毎月、

- ・第2・第4金曜日 午前10時から12時
 - ・第3木曜日 午後1時30分から3時30分
- 笑いの絶えない雰囲気なかでの歌あり体操あり『ふまねっと』ありで、2時間もあっという間です。興味のある方、一度見学にいらしてみませんか？(参加費は無料です)



歯の健康に聞き入る参加者！

【ご参考までに！】
『ふまねっと』とは？、50センチメートル四方の大きなマス目でできたゴムの網を床に敷き、網を踏まないで歩くことで歩行機能の改善や注意力・記憶力・集中力の向上が期待できる運動です。

事業所紹介 【デイサービスだより】

佐倉厚生会では、一人一人を大切にしたい小規模のデイサービスを佐倉地域と酒々井地域の2か所で行っています。もう一つの『わが家』を目ざしており、ゆったりと穏やかに過ごしていただけることを職員一同願って、日々励んでおります。

◇ 佐倉地域でのデイサービス

佐倉地域のデイサービスは、特別養護老人ホームさくら苑に併設しており、緊急時の対応や応援体制も整っています。

このデイサービスでは日常生活支援はもとより、ボランティアの方々との交流も盛んで、家庭的ななかにも楽しいひと時を送ることができます。一つ、ここで行われている歌声喫茶をご紹介いたしましょう。

さくら苑デイサービスでは水曜日の午後にボランティアの方による電子ピアノの演奏とともに、利用者の皆さんと一緒に童謡や唱歌を歌う時間があります。懐かしい歌とあって、利用者の皆さんには大変好評です。職員も含めてわきあいあいとした雰囲気を、是非体験してみたいはいかがでしょうか。

◇ 酒々井地域でのデイサービス

のんびりとした田園風景のなか、ゆったり流れる時間を過ごしていただけるのがデイサービスセンターはちこくの里です。敷地内には菜園があり、季節の野菜を育てています。利用者には農家の方もおられるため、いろいろと助言をいただきながら利用者と一緒に育て、収穫をしております。昼食時には収穫した野菜を調理することもあり、そのときは「採れたては美味しい！」「甘みがある！」と会話ははずみ、いつも以上に食事も進みます。

豊かな自然環境、昔ながらの家のたたずまい。移りゆく季節を実感していただき、少しでも利用者の方々の『心の里』になれるよう職員一同がんばっています。百聞は一見に如かず、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。いつでもお待ちしております。



はちこくの里でお待ちしております！！

オレンジカフェ『やまびこ』オープン！



フラワーアレンジメントで会話も花ざかり！

また、佐倉地域では佐倉市からの委託を受け、平成29年8月よりオレンジカフェ『やまびこ』をオープンいたしました。佐倉市では認知症になっても住みやすいまちづくりを目ざしており、従来の5か所からさらに実施施設を4か所増やし、9か所での開催となったわけですが、私どもの法人もその一翼を担うこととなり、地域支援の拠点として、交流をとおり専門性を発信できるよう、地域の方々とともに取り組んでまいります。

近年の高齢化の波とともに、認知症になられる方も年々増え続けています。そうしたなかで、認知症の

方が安心して暮らすためには、周囲の方々の理解が欠かせないものとなります。それを実現するためにも地域全体が人にやさしいまちづくりに取り組んでいかなければなりません。そして、その中心的支援拠点を担うのがオレンジカフェの存在だと考えています。

オレンジカフェでは、認知症になられた当事者はもとより、その家族や知人、医療やケアの専門職、さらに認知症について関心のある方など、地域の方ならだれでも参加でき、交流を深めながら情報の交換を行うことができます。また、気軽に足を運びやすくすることも『カフェ』の言葉に込められていますので、その名のとおり、地域の方々の集いの場となるよう、オレンジカフェを大切に育てていきたいと考えています。

さて、オレンジカフェ『やまびこ』は平成29年8月26日にオープンし、初回はフラワーアレンジメントをしながら交流の場を広げることができました。なかには3世代で協力し作品作りを楽しみながら「また来月も来ようね」と言葉が弾む一幕もありました。毎月1回開催を予定としており、2回目はそば打ち、3回目は竹太鼓、4回目はアコーディオン演奏と、どなたでも参加でき、すぐに馴染むことができるよう、さまざまな企画も計画していますので、どうかお気軽にお越しください。お待ちしております。

12月からの開催予定

- ・12月23日(土) クリスマスコンサート
- ・1月27日(土) 新春コンサート
- ・2月24日(土) (未定)
- ・3月31日(土) (未定)

〈掲示板〉

当法人ではさくら苑地域交流研修所、ルピナスかぶら木学習交流センターの2カ所を地域の方々の活動拠点として提供しています。その活動をご紹介します。

ルピナスかぶら木

- わくわく体操……………毎週月曜日 9:30～11:30
 - レクリエーションダンス…第1、2木曜日 10:00～12:00
 - 料理教室……………第3土曜日 9:00～13:00
 - フラワーアレンジメント…第4土曜日 10:00～12:00
- 皆様のご参加をお待ちしております。お気軽にご参加ください。

さくら苑地域交流研修所

- わくわく体操……………毎週木曜日 9:00～11:30
- お囃子練習、楽器練習、ボーイスカウト4団体の活動の場として利用して頂いております。

新任ご挨拶

副施設長 林 満

みなさま、こんにちは

本年10月より、当苑の副施設長として勤務させて頂いております林と申します。昨年度より法人の監事及び理事としてお世話になっておりましたが、この度、相沢施設長はじめ職員の皆さんと一緒に大きく発展させた、伝統ある「さくら苑」に勤務できましたことに誇りと責任を感じているところであります。

当苑の事業展開は、本来の介護事業のほか、学習支援事業や就労支援事業など、本年5月に成立した「地域包括ケア強化法」でも明記されているとおり、地域住民との連携強化により地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の定着にマッチしており、今後は大きく貢献することに期待を寄せているところでもあります。

少し、当苑の宣伝をさせていただきますが、既に運用されております「ルピナスかぶら木」での、わくわく体操や「オープンサロンやまびこ」を解放してのオレンジカフェ利用や介護のスキルアップの為の学習会の開催などは、地域支援の交流の促進拠点として認知され、反響が寄せられていることは、喜ばしい限りであり、必ずや未来へつながることと思います。今後とも、一層地域とのつながりを大切しながら、市民の誰もが参加しやすい開かれた施設運用などに努めて参りたいと考えております。

こうした現状を踏まえ「さくら苑」職員一同が、法人として地域活動の担い手として主導的な役割が果たせるよう、日々新たにの気持ちで尽力する所存でありますので、今後とも、宜しくご支援、ご協力をお願い申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。

決算書

貸借対照表の要旨

平成29年3月31日

(単価：千円)

勘定科目	金額
資産の部	
流動資産	161,026
固定資産	575,211
(基本財産)	386,539
(その他の固定資産)	188,672
資産の部合計	736,237
負債の部	
流動負債	35,099
固定負債	43,917
負債の部合計	79,016
純資産の部	
基本金	353,814
国庫補助金等特別積立金	52,357
その他の積立金	115,000
次期繰越活動増減差額	136,049
純資産の部合計	657,220
負債及び純資産の部合計	736,237

事業活動計算書の要旨

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
サービス活動収益	448,141
サービス活動費用	485,178
サービス活動増減差額	△ 37,037
サービス活動外収益	3,583
サービス活動外費用	2,541
サービス活動外増減差額	1,042
経常増減差額	△ 35,994
特別増減	
特別収益	927
特別費用	0
特別増減差額	927
当期活動増減差額	△ 35,067
繰越活動増減差額	
前期繰越活動増減差額	171,117
当期末繰越活動増減差額	136,050
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	136,050

資金収支計算書の要旨

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入	451,725
事業活動支出	473,433
事業活動資金収支差額	△ 21,708
施設整備等による収支	
施設整備等収入	13,527
施設整備等支出	17,875
施設整備等資金収支差額	△ 4,348
その他の活動による収支	
その他の活動収入	3,974
その他の活動支出	2,802
その他の活動資金収支差額	1,172
当期資金収支差額合計	△ 24,884
前期末支払資金残高	178,147
当期末支払資金残高	153,263

